

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年1月31日

上場会社名 イチカワ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3513 URL http://www.ik-felt.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牛尾 雅孝
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 山崎 敦 (TEL) 03-3816-1111
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,997	13.2	579	69.9	871	52.4	675	63.2
2022年3月期第3四半期	8,829	5.2	341	—	571	246.2	413	229.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 958百万円(171.2%) 2022年3月期第3四半期 353百万円(△3.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	147.47	—
2022年3月期第3四半期	90.40	—

(注) 2022年3月期第3四半期の営業利益の対前年同四半期増減率は1,000%を超えるため「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	26,593	19,446	73.1
2022年3月期	25,732	18,768	72.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 19,427百万円 2022年3月期 18,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年3月期	—	30.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	5.2	600	13.0	1,000	31.9	700	33.6	152.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) ()、除外 一社(社名) ()
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,967,151株	2022年3月期	4,967,151株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	389,118株	2022年3月期	388,995株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	4,578,131株	2022年3月期3Q	4,577,226株

※期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)にかかる信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から緩やかに持ち直しているものの、原油価格高騰などエネルギー価格の高止まり、それに伴う原材料価格の高騰、及び日米金利差拡大による円安ドル高の進行など、一進一退を繰り返す状況となっております。

当社グループの主要取引先であります紙パルプ業界の動向は、国内につきましては板紙及び衛生用紙等の需要は横ばいで推移しておりますが、新聞用紙及び印刷情報用紙の需要は、新型コロナウイルス禍以前の水準までは回復に至らず減少傾向が続いております。海外につきましては、アジア地域において通販市場の拡大に伴う板紙及び衛生用紙の需要があるものの、新聞用紙及び印刷情報用紙は国内と同様に需要の減少傾向が続くと見込まれるなど、不安定な状況が継続しております。これを受け、当社は世界的な紙の需要減を見込み、抄紙用フェルトのコスト競争力を強化するべく生産体制の最適化を進めると同時に、原材料価格等の高騰によるコスト上昇に対応するため、製品価格への転嫁を推進してまいりました。加えて、品質面では衛生用紙向けベルトが世界的に評価され、拡販につなげるべく積極的な受注活動を行ってまいりました。

このような状況の中、製品価格改定の浸透、需要が旺盛な板紙向けフェルトの販売数量の増加に加え、為替が円安に推移した影響により、当社グループの連結売上高は9,997百万円（前年同期比13.2%増）となりました。損益の状況につきましては、売上高増加の一方で、原材料価格やエネルギー価格高騰による売上原価の増加、海上輸送の混乱や原油価格高騰による運送コストの増加により、連結営業利益は579百万円（前年同期比69.9%増）、為替差益を計上したことにより連結経常利益は871百万円（前年同期比52.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は675百万円（前年同期比63.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

<抄紙用具関連事業>

(日本)

内需につきましては、厳しい市場環境が続く中、懸命な受注活動を推進したことにより、抄紙用フェルトの販売数量が増加いたしました。また、輸出につきましては、中国国内の一部顧客との商流を当社直販に変更したため抄紙用フェルトの販売数量が増加いたしました。

これに加え為替影響により、売上高は6,327百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

(北米)

新型コロナウイルス感染症の影響による一部顧客の生産調整の一巡及び板紙向けの需要増により抄紙用フェルトの販売数量が増加いたしました。これに加え為替影響により、売上高は1,404百万円（前年同期比56.0%増）となりました。

(欧州)

新型コロナウイルス感染症対策に伴う販売製品の選択と集中を行ったため抄紙用フェルトの販売数量が減少いたしました。抄紙用ベルトは衛生用紙向けに受注活動を推進したことで販売数量が増加いたしました。

これに加え為替影響により、売上高は1,418百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

(中国)

中国国内の景気減速に加え、一部顧客との商流を当社直販に変更したため抄紙用フェルトの販売数量が減少いたしました。抄紙用ベルトは一部顧客の操業低下により販売数量が減少いたしました。この結果、売上高は148百万円（前年同期比63.1%減）となりました。

(タイ)

板紙向けの需要増により抄紙用フェルトの販売数量が増加いたしました。これに加え為替影響により、売上高は219百万円（前年同期比41.4%増）となりました。

<工業用事業>

需要拡大が期待されている高温成型用の耐熱緩衝材の販売数量が増加いたしました。この結果、売上高は478百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ860百万円増加し、26,593百万円となりました。これは主として現金及び預金が547百万円、原材料及び貯蔵品が212百万円、投資有価証券が276百万円増加した一方、有形固定資産が474百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ182百万円増加し、7,147百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が308百万円、流動負債その他が260百万円増加した一方、未払法人税等が215百万円、賞与引当金が200百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ678百万円増加し、19,446百万円となりました。これは主として利益剰余金が394百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月28日に公表いたしました2023年3月期通期の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,452,114	4,999,435
受取手形及び売掛金	4,413,203	4,744,098
商品及び製品	1,504,472	1,578,073
仕掛品	1,131,879	989,748
原材料及び貯蔵品	597,461	809,595
その他	117,126	189,014
貸倒引当金	△2,582	△2,808
流動資産合計	12,213,675	13,307,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,296,210	4,060,481
機械装置及び運搬具(純額)	3,020,415	2,868,273
リース資産(純額)	81,229	65,019
その他(純額)	2,257,876	2,187,666
有形固定資産合計	9,655,732	9,181,441
無形固定資産	88,085	57,464
投資その他の資産		
投資有価証券	3,699,995	3,976,860
繰延税金資産	31,854	27,349
その他	97,001	96,938
貸倒引当金	△53,518	△53,518
投資その他の資産合計	3,775,332	4,047,630
固定資産合計	13,519,150	13,286,536
資産合計	25,732,826	26,593,695

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	376,826	685,132
短期借入金	860,000	860,000
リース債務	61,575	59,137
未払法人税等	269,738	54,075
賞与引当金	405,902	205,585
役員賞与引当金	20,000	-
その他	925,772	1,186,145
流動負債合計	2,919,815	3,050,077
固定負債		
リース債務	57,498	28,869
繰延税金負債	591,388	674,998
役員株式給付引当金	83,071	105,421
退職給付に係る負債	3,229,558	3,198,654
その他	83,366	89,349
固定負債合計	4,044,882	4,097,293
負債合計	6,964,697	7,147,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,594,803	3,594,803
資本剰余金	2,333,201	2,333,201
利益剰余金	12,040,180	12,435,123
自己株式	△647,760	△647,923
株主資本合計	17,320,425	17,715,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,329,592	1,516,089
為替換算調整勘定	88,579	192,725
退職給付に係る調整累計額	12,978	3,190
その他の包括利益累計額合計	1,431,150	1,712,005
非支配株主持分	16,552	19,113
純資産合計	18,768,128	19,446,324
負債純資産合計	25,732,826	26,593,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	8,829,131	9,997,440
売上原価	5,526,660	5,992,036
売上総利益	3,302,470	4,005,403
販売費及び一般管理費	2,961,250	3,425,754
営業利益	341,220	579,649
営業外収益		
受取利息	326	415
受取配当金	94,578	107,445
為替差益	-	143,972
雇用調整助成金	124,600	16,523
その他	59,973	65,931
営業外収益合計	279,479	334,288
営業外費用		
支払利息	6,138	5,610
為替差損	1,721	-
賃貸費用	9,968	10,403
訴訟関連費用	9,040	4,809
その他	22,311	21,913
営業外費用合計	49,180	42,737
経常利益	571,519	871,200
特別利益		
投資有価証券売却益	1,350	-
特別利益合計	1,350	-
特別損失		
投資有価証券評価損	20,566	-
特別損失合計	20,566	-
税金等調整前四半期純利益	552,302	871,200
法人税、住民税及び事業税	150,511	197,403
法人税等調整額	△12,361	△1,717
法人税等合計	138,149	195,686
四半期純利益	414,153	675,514
非支配株主に帰属する四半期純利益	349	389
親会社株主に帰属する四半期純利益	413,803	675,124

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	414,153	675,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90,356	186,496
為替換算調整勘定	35,692	105,942
退職給付に係る調整額	△6,247	△9,787
その他の包括利益合計	△60,911	282,651
四半期包括利益	353,241	958,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	353,753	955,979
非支配株主に係る四半期包括利益	△511	2,186

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	抄紙用具関連事業					工業用 事業	計		
	日本	北米	欧州	中国	タイ				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,785,706	900,203	1,186,744	403,048	155,332	398,096	8,829,131	—	8,829,131
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,806,259	—	—	212,649	20,078	9,528	2,048,516	△2,048,516	—
計	7,591,965	900,203	1,186,744	615,698	175,410	407,625	10,877,647	△2,048,516	8,829,131
セグメント利益	1,198,574	16,998	61,826	50,022	21,004	66,935	1,415,361	△1,074,140	341,220

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,074,140千円には、セグメント間消去1,512千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,092,921千円、棚卸資産の調整額△33,418千円、為替レート差額51,621千円、貸倒引当金の修正等△936千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	中国	その他の地域	合計
4,337,264	667,132	1,035,937	1,409,607	1,379,189	8,829,131

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2	
	抄紙用具関連事業					工業用 事業			計
	日本	北米	欧州	中国	タイ				
売上高									
外部顧客への 売上高	6,327,349	1,404,424	1,418,827	148,868	219,627	478,342	9,997,440	—	
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,147,805	—	—	273,710	34,590	10,049	2,466,155	△2,466,155	
計	8,475,155	1,404,424	1,418,827	422,579	254,218	488,391	12,463,596	△2,466,155	
セグメント利益	1,475,804	121,581	98,131	39,495	37,961	86,950	1,859,924	△1,280,275	

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,280,275千円には、セグメント間消去244千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,242,793千円、棚卸資産の調整額△28,390千円、為替レート差額△8,234千円、貸倒引当金の修正等△1,101千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	中国	その他の地域	合計
4,442,627	1,129,940	1,155,978	1,302,150	1,966,743	9,997,440

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。